

政策 3-1	訪れたい魅力ある観光地域づくりを進めます
総合戦略 2-(2)	交流人口増及び地方移住の推進

R5.2
商工観光課

1 地域資源を活かした魅力ある観光地域づくり

めざす姿 ●魅力的なおもてなしに満足し、「また来たい！」という来訪者が増えている。
●市民の誇りある観光地として、市内からの来訪者も増えている。

	推移								目標
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R8
観光消費額（百万円）	4,756	4,954	4,801	4,501	4,383	2,484	2,751	3,902	4,600
一人当たり観光消費額（円）	4,048	3,715	3,948	3,846	3,987	4,329	4,365	4,429	4,200

5年度のポイント ① 中央アルプス国立公園の保全と活用
② 高原観光地の再生事業(駒ヶ根高原グランドデザインの具現化)

①中央アルプス国立公園の保全と活用

- ・ 檜尾小屋及びテント場の適正な管理運営 **継続** 【予算額 2,000千円】
指定管理の実施（営業期間7月中旬～10月上旬予定）
- ・ 登山道等の年次的な整備や適正な維持管理の実施 **継続** 【予算額 3,300千円】
中ア縦走路等の登山道整備や、統一的なデザインによる登山道標の整備を進める。
【R 4 繰越】自然環境整備支援事業（空木岳登山道ほか） 【予算額 7,000千円】
- ・ 中央アルプス山岳環境の保全と活用の検討 **継続** 【予算額 791千円】
県天然記念物である千畳敷カールや山域全体の保全と活用を検討する。



リニューアルした檜尾小屋



檜尾岳テント場



統一デザインによる登山道標



檜尾小屋から望む南アルプスの眺望

②観光拠点施設の整備・来訪者満足度向上

1) 観光施設管理運営事業

- ・ 観光施設の指定管理を実施し、適正で効果的な運営に努める **拡充** 【予算額 23,001千円】
駒ヶ根ファームス、水と森のアウトドア体験広場、駒ヶ根キャンプセンター、こまくさの湯、戸倉山キャンプ場

- ・ 観光施設の適正な維持管理を実施する **継続** 【予算額 4,399千円】
観光施設及び駒ヶ根高原一帯の適正な維持管理を行う。
- ・ 駒ヶ根高原温泉開発(株)の支援等 **継続** 【予算額 財政支援 2,000千円 基金積立 13,829千円】
早太郎温泉郷の源泉管理及び温泉供給施設管理の運営支援、温泉開発基金積立



こまくさの湯



アウトドア体験広場



駒ヶ根キャンプセンター

2) 高原観光地の再生事業

- ・ 高原の良好な環境を守り育てるため維持管理を実施する **継続** 【予算額 1,216千円】
駒ヶ根・宮田高原を美しくする会など
- ・ 駒ヶ根高原グランドデザイン具現化事業の実施 **継続** 【予算額 2,000千円】
信州大学などと連携し高原におけるWi-Fi環境構築と活用
サイクルツーリズム、駒ヶ根高原周遊プランの造成 実証実験
- ・ 駒ヶ根高原中核観光拠点施設の基本計画作成 **新規** 【予算額 2,000千円】
官民連携による観光中核拠点施設の再整備基本計画の作成
- ・ 駒ヶ根キャンプセンターリノベーション基本計画作成 **新規** 【予算額 6,000千円】
施設全体の利活用や長寿命化を図るため、リノベーション基本計画を作成
- ・ 観光施設改修事業 **拡充** 【予算額 32,616千円】
こまくさの湯、アウトドア体験広場など年次計画的な施設改修を実施する。
【R4繰越】駒ヶ根ファームスウッドデッキ改修事業（改修工事等）【予算額 65,000千円】



駒ヶ根ファームス



菅の台バスセンター



駒ヶ根高原でワーケーション



サイクルツーリズム

2 高速交通網を活かした広域観光連携

めざす姿

- 魅力ある観光地域づくりができていて、多くの人が集い賑わっている。
- 市内への来訪者が増えている。

	推移								目標
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R8
観光地来訪者数（千人）	1,175	1,334	1,216	1,170	1,099	574	630	881	1,320

5年度の
ポイント

①魅力ある観光地域づくりの推進

①観光プロモーション活動事業

- ・ 観光誘客キャンペーン・イベントの実施 **継続** 【予算額 1,891千円】
首都圏「銀座NAGANO」や都市部における誘客促進、企業等との連携を通じた誘客戦略
- ・ 広域連携による、誘客促進活動の実施 **継続** 【予算額 1,652千円】



広域連携イベント



京王新宿インフォメーションプラザ



銀座NAGANOイベント



モンベルフレンドフェア

②観光地域づくり推進事業

- ・ 観光まちづくり事業補助金 **継続** 【予算額 1,050千円】
観光振興を目的とするイベント及び団体活動を支援する補助制度
補助率 10/10（限度額：観光振興イベント 30万円、観光振興活動 15万円）
- ・ 駒ヶ根高原夏祭り事業 **新規** 【予算額 1,000千円】
多くの観光客が訪れる夏の時期に、駒ヶ根高原でイベントを行い、駒ヶ根高原へのリピータを獲得するとともに、観光客も市民も楽しめるイベントを開催する。
対象経費：広報用チラシ作成、会場設置業務委託費、バス借り上げ料、消耗品費
- ・ 中央アルプス魅力体感事業 **継続** 【予算額 1,500千円】
中央アルプスの魅力を体感し、「駒ヶ根ファン」となる市民を増やすために、市民限定の中央アルプスロープウェイの利用補助を行う。
対象者：駒ヶ根市民 利用補助額：大人 1,000円、小中学生・高校生 無料、クーポン券
- ・ 観光高付加価値創造事業 **新規** 【予算額 2,600千円】
観光資源のブラッシュアップのために、施設の改修、観光商品の企画・開発、情報発信に伴う経費の一部に対して補助する。
補助内容：設備投資10,000千円以上 1,000千円
設備投資10,000千円未満 補助率 1/10（限度額500千円）
観光商品の企画・開発、情報発信 補助率1/10（限度額200千円）



観光振興イベント



観光振興事業



駒ヶ岳ロープウェイ

③地域間交流事業

- ・ 国内における友好都市や食文化を通じた交流を積極的に推進する
磐田市、二本松市、かほく市 **継続** 【予算額 242千円】
- ・ 駒ヶ根市PRキャラクター「こまかつぱ」を活用した観光PRの推進
市内外でのイベントへの参加やノベルティグッズの製作 **継続** 【予算額 450千円】



磐田市「裸まつり」



かほく市「かにカニ合戦」



特産品相互販売



こまかつぱイベント

④地域おこし協力隊

- ・ 地域おこし協力隊員の増員 **拡充** 【予算額 8,939千円】
登山道整備や山岳観光に関するPR活動などを幅広く行うために、地域おこし協力隊員を1名増員する。

政策 3-2	移り住みたくなる魅力に富んだまちづくりを進めます
総合戦略 2-(1)	移住・定住・Uターン施策の推進

R5.2
商工観光課

1 移住・定住の推進

めざす姿

- UIJターンで市内に暮らす人が増えている。
- 移住した人と地元の人が互いを尊重し、認め合い、幸せに住み続けられる。

	推 移 (斜体は見込み)								目標
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5~8
UIJターンによる移住者数	62人	80人	152人	144人	94人	154人	133人	87人	520人

※移住者数は推進協議会で関わった移住者数と住宅支援事業制度を利用した移住者数

5年度のポイント

- ①空き家バンクの登録促進と利活用推進を強化し、新たな移住者の獲得につなげます
- ②官民連携の協議会によるオール駒ヶ根で定住を促進

① UIJターン相談員及び『信州駒ヶ根暮らし推進協議会』と連携し、若い世代に向けた移住や暮らしにまつわる情報を発信し、移住・定住に繋がります。

② 暮らし・移住情報の発信とワンストップ移住相談

(1) 都市部でのセミナーの実施や体感イベント等の実施

継続 【予算額 2,453千円】

- ・移住推進機関でのセミナーやイベントに参加
- ・セミナーの充実を図るため、外部に一部事業を委託し、駒ヶ根市の魅力を効果的に発信。
- ・駒ヶ根市の魅力発信のため相談会を都市部にて実施。
- ・移住された方々の交流機会を増やすために定期的に移住者交流会を開催する。



相談会の様子



交流会の様子

(2) 広告宣伝・啓発

継続 【予算額 1,347千円】

- ・移住情報誌等への広告掲載（暮らし情報、イベント、分譲地）
- ・ホームページや移住マッチングサービスを活用し、宣伝の強化を図る。

(3) お試し滞在事業の実施

継続 【予算額 700千円】

- ・定住移住に向けた活動をするために移住定住に向けた活動を支援。

対象者 市外に住所があり、当市への移住定住を目的とした活動のために宿泊する方
 助成額 一人1泊5千円（1回の滞在で2人で2泊まで）年間5万円上限
 対象施設 市と契約した市内宿泊施設（14施設）

(4)こまがねリアル体験住宅事業の実施

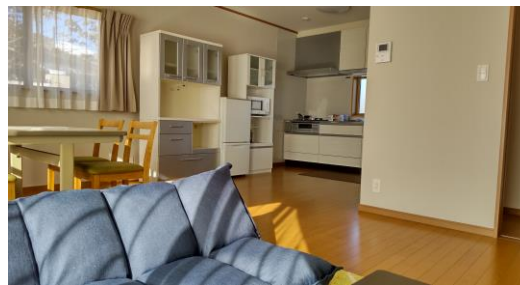
継続 【予算額 628千円】

- ・移住希望者の方に市での暮らしを長期で体験できる住宅を設置し、移住に繋げる。

対象者 上伊那区域外に住所があり、移住定住を目的とした活動のために宿泊する家族
 助成額 1週間につき5千円 最大1ヶ月2万円
 対象施設 こまがねリアル体験住宅【飯坂1丁目6番14号】



体験住宅の外観



リビングとキッチン

(5)空き家に対して補助金を活用し、駒ヶ根市空き家バンクの登録促進と利活用推進

新規 **継続** 【予算額 6,000千円】

- ・空き家バンクの登録物件に空き家片づけ補助金に加えて、売買成立した際に奨励金を出し登録件数を増加させ、さらに空き家リフォーム補助金を新設し、空き家バンクの有効活用を推進する。

対象者 空き家バンク所有者、売買契約者、賃貸借契約者。
 助成金 【新規】空き家バンク成約奨励金 所有者（売買が成立した場合）に一律10万円
 【新規】空き家バンク改修補助金 経費の1/2以内 50万円上限
 【継続】空き家バンク片付け補助金 経費の1/2以内 10万円上限

(6)地域おこし協力隊員による空き家の掘り起し事業を展開

新規 【予算額 4,203千円】

- ・空き家バンク事業の推進と市内の空き家の解消、有効活用を進めるために地域おこし協力隊員を1名採用し、空き家の掘り起こしをして移住者の増加を図り、移住・定住事業の活性化を行う。

(7)子育て&移住・マイホーム補助金支援事業

継続 【予算額 15,000千円】

- ・子育て世代の市内への定住を促進し、定住人口の増加及び地域の活性化を図る。

対象者 市内に住宅の新築工事または購入（新築または中古）の契約を締結した人。
 （他に年齢や住所要件等あり）
 助成額 新築住宅で最大120万円、中古住宅で最大100万円。

(8)UIJターン就業・創業移住支援金事業

拡充 【予算額 5,000千円】

- ・市内企業等の担い手不足の解消及び市内への移住促進を図る。

対象者 東京圏（埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）、愛知県、大阪府に在住、勤務の方
 （他に住所要件や就業先要件あり）
 助成額 世帯100万円、単身60万円 【18歳未満の子ども：一人につき100万円】

事業実績

(斜体は見込み)

区分	R1	R2	R3	R4
都市部での相談会来場者数	74組106名	101組116名	167名	187名
駒ヶ根体験イベント等参加者数	11組21名			
駒ヶ根市来訪者（相談）件数	82組127名	125組189名	142組215名	107組189名
お試し滞在事業利用数	53組81名	57組79名	63組88名	37組65名
空き家バンク登録件数	5件	5件	11件	8件
空き家片付け補助申請件数	4件	3件	9件	8件
移住者数	35組94名	55組154名	54組133名	36組87名

※ R2. 3年度の相談会来場者数はオンラインセミナー参加者数を含む

※ R2年度からの体験イベントは新型コロナウイルス感染症の影響により中止

